

第5学年 国語科学習指導案

日時 平成20年10月17日(金) 授業Ⅱ
児童 男20名 女14名 計34名
指導者 片沼光輝

1. 単元名 人物の考え方や生き方をとらえよう
教材名 「わらぐつの中の神様」

2 単元について

(1) 児童の実態

児童はこれまで、第4学年では、読書単元「本と友達になろう」において、物語「白いぼうし」の学習を通して、叙述に即した読み取りや表現の工夫を味わいながら読む学習をしてきた。第5学年では、「新しい友達」の学習において、登場人物の心情の変化を読み取り、話し合う活動を行ってきた。児童は、文章の中から登場人物の会話や行動を表す文を見つけることはできる。そして、そこから考えたことや想像したことを書き込むこともできるようになってきた。しかし、書かれている文から想像を広げ、意欲的にたくさん書き込むことのできる児童がいる一方、想像することが苦手な児童もあり、その差が大きいと言える。そのため、想像を広げられない児童には、友達の考えを聞いて書き込むことで、考えを深められるように指導してきた。

語彙力については、自分の考えを言葉で意欲的に表現することができる児童と語彙力が不足しているために、上手く言葉に表現できない児童がおり、個人差がある。

書くことについては、全体的に視写力は育ってきている。しかし、自分の考えをまとめたり、複数の文章をまとめたりすることは、まだ十分にできていない。

音読については、初見ですらすら読むことができる児童がいる一方、学習した文章であっても、ひっかかってしまう児童がおり、個人差が大きい。

読書については、比較的読書を好む児童が多く、興味がある図書資料をさがして読んでおり、進んで様々な本を読もうとする態度が見られる。

(2) 教材について

本教材は、本当の価値を見極めることの大切さを知ったマサエの変容を描いた作品である。作品は、現在―過去―現在の三部構成となっており、時間の行き来があったり、それに伴う場面の飛躍的な転換があったりして、おもしろさがある。主人公のおみつは、純粋で正直で優しく思いやりがあり、児童にとって親しみやすいキャラクターである。現代的ではないにしても、時代の制約を超えて親しみを感じさせる、普遍的な面をもっている人物である。

本教材は、読み手の注目の仕方によって、様々なおもしろさを見せてくれる。構成の巧みさ、登場人物の人柄、小道具（わらぐつ、朝市、雪げたなど）の役わり、転換する場面、印象的なせりふなど、優れた表現が数多くあり、これらの表現に触れ、登場人物の心情に共感したり、場面描写に着目させたりして豊かに想像させていくことで、叙述に即して読む力を育てるとともに、作品のおもしろさを味わうことができると思う。

(3) 指導にあたって

本単元は、1学期の物語教材「新しい友達」を受けての学習である。そこで、1学期に学習した登場人物の心情を考え、それに共感しながら読み進めたり、小道具の果たす役割について触れたりした「新しい友達」での学習を生かして指導に当たっていききたい。

つかむ段階では、初発の感想をもとに学習計画を立てていく。

ふかめる段階では、一の場面では、マサエのわらぐつに対する考え方が否定的であり、物の見方や考え方が、外見中心であることをとらえさせていく。二の場面では、主人公のおみつとわかい大工さんの行動や会話に着目して読み進めることにより2人の心情を追いながら読み進めたり、それぞれの考え方を深く読み取ったりしていく。そして、2人の仕事に対する価値観が同じであることをとらえさせていききたい。三の場面では、おばあちゃんの話聞いたマサエのわらぐつに対する考え方が一の場面と比べて変化していることに気づかせる。そのために、マサエとおばあちゃんの会話文やマサエの行動に注目させていききたい。

まとめる段階では、方言と共通語の違いについて、児童どうしの話し合いを通してそれぞれのよさに気づかせていききたい。

3 指導目標

【関心・意欲・態度】

○物語の温かさに引かれて、心に残る言葉や文章、情景や場面を楽しんで読もうとしている。

【読むこと】

◎登場人物の人柄や場面の様子、情景を楽しんで読むことができる。

◎現在―過去―現在という物語の構成とその効果について理解することができる。

【言語事項】

○方言と共通語の違いを理解することができる。

4 指導計画（全10時間）

段階	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準
つかむ 2	2	<ul style="list-style-type: none"> 全文を読み、初発の感想を交流する。 新出漢字や難語句、登場人物について確認する。 物語の構成を確認し、場面分けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 初めて知ったこと、疑問に思ったこと、印象に残ったことを書き、発表する。 物語の大体のあらすじをつかませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 初めて知ったことや疑問に思ったことを書いている。 物語の構成や場面の違いに気づいている。
ふかめる 6	1	作品の背景やマサエの人柄を叙述をもとに読み取る。 Title～P8L9	マサエとお母さん、マサエとおばあちゃんの会話を手がかりに読む。	作品の背景やマサエの人柄について叙述をもとに読み取っている。
	1	雪げたがほしいと思うおみつさんの気持ちを叙述をもとに読み取る。 P8L10～ P11L7	おみつさんの雪げたに対する思いを読む。	おみつさんの雪げたがほしいと思う気持ちを叙述をもとに読み取っている。
	1	おみつさんがわらぐつを編んだときの気持ちを叙述をもとに読み取る。 P11L8～ P14L5	おみつさんがどんな気持ちでわらぐつを編んでいたのか着目させ、出来上がったわらぐつの外見と機能面を比較しながら読む。	おみつさんがわらぐつを編んだときの気持ちを叙述をもとに読み取っている。
	1 本時	おみつさんが大工さんをおがみたいような気持ちになったのはなぜか、叙述をもとに読み取る。 P14L6～ P16L11	わらぐつを買ってもらうまでのおみつさんの気持ちの変化に着目させる。	おみつさんが大工さんをおがみたいような気持ちになったのはなぜか、叙述をもとに読み取っている。
	1	おみつさんが大工さんをとてましたのしく、えらい人のように感じた理由を叙述をもとに読み取る。 P16L12～ P20L6	おみつさんが大工さんをとてましたのしく、えらい人のように感じた部分の叙述に着目させる。	おみつさんが大工さんをとてましたのしく、えらい人のように感じた理由を叙述をもとに読み取っている。
	1	わらぐつの中の神様とは、どういうことなのか知り、マサエが雪げたに対する思いを変化させたことを読み取る。 P20L7～ P23L14 現在のマサエの家庭の話があることの効果を考え、発表する。	マサエとおばあちゃんの会話を手がかりに読む。 一の場面の会話と比較して読む。 本文が現在―過去―現在という構成になっていることで、どんな効果があるか考えさせる。	わらぐつの中の神様とは、どういうことなのか知り、マサエの気持ちの変化を読み取り、現在―過去―現在という物語の構成の効果を理解している。

ま と め る 2	1	「わらぐつの中の神様」についての感想文を書き、交流し合う。	心に残った言葉や表現、登場人物の考え方などに着目させ、考えさせる。	「わらぐつの中の神様」についての感想文を書き、交流している。
	1	方言と共通語のそれぞれのよさと役割を話し合う。	教材文を読み、方言と共通語の違いを知り、場面による使い分けが大切であることを理解する。	方言と共通語の違いを理解し、それぞれのよさを感じ取っている。

5 本時の指導

(1) 目標

おみつさんが、わかい大工さんをおがみたいような気になったのはなぜか、叙述をもとに読み取る。

(2) 授業の視点

- ・心情が分かる叙述に書き込みをすることで、想像を広げて読むことができる。
- ・おみつさんが落ち込んだときの叙述に着目させることで、わらぐつが売れたときのうれしさが尋常ではなかったことをとらえることができる。

(3) 展開

過程	学 習 活 動	教師の働きかけ (・) 児童の反応 (→)	指導上の留意点
つ か む 5 分	1 本時の学習課題を確認する。		
	おみつさんが、わかい大工さんをおがみたいような気になったのはなぜだろう。		
ふ か め る 3 0 分	2 本時の場面を音読する。 (指名読み)	・読む人は課題を意識して、はっきり読みましょう。聞く人は、課題を解決できるようにしっかり聞きましょう。	・おみつさんの気持ちが分かる部分を探しながら、聞くようにさせる。
	3 詳しく読み取る。 (1) 一人学びをする	・おみつさんの気持ちが分かるところにサイドラインを引き、書き込みをしましょう。 →楽しくなりました。 (もうすぐ雪が買える) →おみつさんは、がっかりして～。 (格好が悪いから誰も買ってくれないのかなあ) →赤くなりながら、おずおずと差し出しました。(また悪口を言われるかもしれない) →うれしくて、うれしくて～。 (買ってくれてありがとう) (神様みたいに思えた)	・教科書の叙述にサイドラインを引き、書き込ませる。
	(2) おみつさんの気持ちを読み取る。 ①雪が買えそうだと期待しているおみつさんの気持ちを読み取る。 ②わらぐつが売れず、がっかりしているおみつさんの気持ちを読み取る。	・げた屋さんの前を通ったとき、おみつさんはどんなことを考えたのでしょうか。 →まだ売れていない。よかった。 →雪が買えそうな気がした。 ・おみつさんの気持ちがよく分かる言葉は何ですか。 →楽しくなりました。 ・おみつさんのわらぐつを見た町の人たちの反応は、どうでしたか。 →くすくす笑った } 断った →あきれた顔をした } →「わらまんじゅうかと思った」	・「横目で見る」、「ちゃんとそこにありました」、「ほんのちょっぴり手のとどくところへ出てきたような気がして、楽しくなりました」 の叙述に着目させ、おみつさんが期待している気持ちをとらえさせる。

	<p>③わらぐつが売れたときのおみつさんの気持ちを読み取る。</p>	<p>などとあげすけなことを言った。</p> <ul style="list-style-type: none"> •このときのおみつさんの気持ちがよく分かる言葉は何ですか。 <p>→がっかり</p> <ul style="list-style-type: none"> •がっかりしたおみつさんの様子が書かれている部分を視写しましょう。 <p>→おみつさんは、がっかりして、不細工なわらぐつを見つめました。</p> <ul style="list-style-type: none"> •わらぐつを見つめて、おみつさんが考えたことを書き込みましょう。 <p>→心をこめて作ったのに誰も買ってくれない。</p> <p>→格好が悪いから買ってくれないのかなあ。</p> <p>→わらまんじゅうなんて言わなくても。</p> <p>→雪げたが買えない。</p> <ul style="list-style-type: none"> •わかい大工さんに声をかけられたとき、おみつさんは、わらぐつをおずおずと差し出しましたが、それはなぜでしょう。 <p>→悪口を言われるのではないかと心配したから。</p> <p>→断られたり、悪口を言われたりして、すっかり自信をなくしていたから。</p> <ul style="list-style-type: none"> •おみつさんは、わかい大工さんがわらぐつを買ってくれると思っていたか。 <p>→思っていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> •わらぐつが売れたとき、おみつさんはどんな気持ちでしたか。 <p>→うれしくてうれしくて、わかい大工さんをおがみたいような気がした。</p> <ul style="list-style-type: none"> •おみつさんが、うれしくて、うれしくてわかい大工さんをおがみたいような気がしたのは、なぜでしょう。 <p>→今まで誰も買ってくれなかったから。</p> <p>→他の人には、笑ったりあきれた顔をしたりして断われたから。</p> <p>→悪口を言う人もいたから。</p> <p>→あきらめようと思っていたときに買ってくれたから。</p> <p>→神様のように思えたから。</p> <ul style="list-style-type: none"> •大工さんは、わらぐつのどんなところを見て買ったのでしょうか。 <p>→しっかり編み込まれ、じょうぶにできているところ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> •「おみつさんは、がっかりして、不細工なわらぐつを見つめました。」の部分を視写し、おみつさんの気持ちを書き込ませる。 <ul style="list-style-type: none"> •おみつさんの言動や行動から、すっかり自信をなくしていることが分かる表現に着目させ、考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> •買ってもらえると思っていたので、なおさらうれしかったことをとらえさせる。 <ul style="list-style-type: none"> •「うれしくて～気がしました。」の部分を視写し、なぜ、そういう気持ちになったのか書き込ませる。
--	------------------------------------	---	--

まとめる 10分	4 本時の学習のまとめをする。		・おみつさんの心情の変化を板書でふり返った後、まとめさせる。
	まとめ例		
	おみつさんは、心をこめて作ったわらぐつを笑われたり、悪口を言われたりしてとてもがっかりしていた。そんなとき、わかい大工さんがわらぐつを買ってくれたので、大工さんが神様のように思えて、おがみたいような気になった。		
	5 まとめを交流する。		
	6 次時の学習内容を確認める。		

(4) 具体の評価規準と支援

A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する子への支援
おみつさんが大工さんをおがみたいような気持ちになったのはなぜか、おみつさんの心情の変化にふれてまとめている。	おみつさんが大工さんをおがみたいような気持ちになったのはなぜか、視写文への書き込みをもとにとにまとめている。	おみつさんが大工さんをおがみたいような気持ちになったのはなぜか、視写文や板書をもとにまとめさせる。

(板書計画)

わらぐつの中の神様

杉みき子

おみつさんが、わかい大工さんをおがみたいような気になったのは、なぜだろう。

げた屋の前

まだ売れていない 雪がたが買えそう

横目で見る 手が届くところへ出てきた

楽しくなった

朝市

○売れないとき

くすくす笑う

あきれた顔

わらまんじゅう (悪口)

がっかり

○売れたとき

また悪口を言われるかも

おやおすと差し出しました

買ってもらえるはずがない

みつともよぐねえわらぐつ

自信がない

・他の人には笑われたりあきれた顔をして断われたから

・悪口を言う人もいたから

・もうあきらめようと思っていたときに大工さんは買ってくれた

大工さんが神様のように思えた

うれしくて、うれしくて **おがみたいような気がした。**

おみつさんは、心をこめて作ったわらぐつが売れずがっかりしていた。そんなとき、わかい大工さんがわらぐつを買ってくれたので、神様のように思えておがみたいような気になった。